

教科名	理 科	科目名	生物基礎（2年次）【2単位】	
授業形態	講義および実験			
選んでほしい生徒	1 身の回りの自然、特に生物に興味・関心があり、深く学んでみたいと考えている者 2 医療系、農学系の大学及び専門学校への進学を希望している生徒			
科目の目標	生物的な探求の過程を通して、生物の多様性と共通性を理解するとともに科学的な思考力、判断力、表現力を養い、豊かな自然観を育てる。			
身に付けてほしい学力	1 観察実験をとおして、自然に対する関心・探求心を高める。 2 基本的な概念や原理・法則を理解し、豊かな自然観を育成する。 3 生物学的に探究する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成すること。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 1 生物の共通性と多様性 2 エネルギーと代謝 3 光合成と呼吸 【2学期】 1 遺伝情報とDNA 2 遺伝情報の発現 3 遺伝情報の分配 4 生物の体内環境の維持 【3学期】 1 生物の多様性と生態系		・細胞や生物の体の様子について実験を通して理解する。 ・光合成や呼吸のしくみについて学習する。 ・遺伝子の本体がDNAであること、セントラルドグマについて学習する。 ・外界の刺激に動物が反応するしくみ及び体内環境を維持するしくみについて学習する。 ・生物の多様性について、また生態系とは何か学習する。 ・生物の多様性を維持するためには、何が必要か学習する。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	・身近な生物現象に疑問を持ち、自ら調べ探究する意欲や普段の学習態度、取り組む姿勢等を総合的に評価する。 ・提出物・課題の提出状況についても評価する。	・課題やレポート、実験ノートから、思考力及び表現力を評価する。 ・定期考査の記述問題、思考問題から思考力、判断力を評価する。	・実験・観察時の手際の良さ、スケッチ、後片付け、班員との連携や着眼点等を総合的に評価する。	・定期考査、課題、単元テスト等を利用して総合的に評価する。
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、実験・観察のレポート及び課題等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 実験・観察に対する姿勢が重視されます。興味・関心を持って実験・観察を行い、レポートをきちんと記録して提出することが求められます。 2 常に身の回りの自然現象に関心を持ち、筋道を立てて考えるよう心がける。			
教材費	補助教材 約1,600円（問題集、資料集等）			
その他	1 何かの検定につながるようなことはありません。 2 大学受験のために学習する場合は、相談に来てください			